

サーチライト With Pastor Jon 創世記 6 章 パート 5

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4 : 7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

前回は創世記 6 章 13 節で終わりました。

そこで、神はノアに仰せられた。

「すべての肉なるものの終わりが、わたしの前に来ている。地は、彼らのゆえに、暴虐で満ちているからだ。それで今わたしは、彼らを地とともに滅ぼそうとしている。」(創世記 6:13)

その心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾く (創世記 6:5)

前回までの学びで見たように、あらゆる種類の異常で奇怪な性行為が行われ、地は救いようのないほどに汚染されたため、神は「世は滅ぼされるべきだ」と宣言することで正義を証明しました。

それは神の意地悪ではありません。

世は非常に病んでおり、人々は互いに殺し合い、破壊し合っていたので、神は、この世全体の悲惨さから解放するという深い憐みを示したのです。

人は病み、世は崩壊していましたが、それでも神は、罪から離れ主に立ち返るようと、とてつもない忍耐を持って人に 120 年の猶予を与えました。

義の人ノアはそこで 120 年間、来る日も来る日も巨大な箱舟を造り続け、「大変なことが間もなく起ころうとしている！」とみんなに伝え続けます。

その様子は、人々には強烈なものとして映りますが、それでも彼らは耳を貸しません。

神は忍耐して 120 年待ち、そして遂に「これまでだ！」

人の墮落があまりにもひどかったため、主は「地を滅ぼすことは正当なことだ」と証明したのです。

狂犬病になった動物がそばにいたら、子供たちのためにそれを殺すのと同じです。

どちらにしても病気のために死ぬのだから。

毒されていない、悪に侵されていない子供たちを神が守るのはもっともなこと、正当なことであると、私は強調しておきます。

なぜなら、皆さんの所にも次から次へと人がやって来ては、こんな質問を投げかけるでしょうから。

「聖書を読んでみたけど、神はいつもいつも人間を罰して、他の文化を否定しているじゃないか。」

こうして、神は寛容ではないとほめかすでしょう。

しかしそれは違います。

カナン文化を裁く前に、神はカナン人に悔い改めるための 400 年の猶予を与えました。これはアメリカ合衆国の年齢の 2 倍ですよ。

カナン人は類を見ないほどひどく病んでおり、あらゆる面で悪に満ちた文化を持っていて、神は悔い改めるよう 400 年もの猶予を与えたのですが、それでも彼らはそうしませんでした。

それで 400 年後、神は遂にヨシュアに告げました。

「彼らを聖絶せよ。いずれにせよ、彼らは死にかけているから。わたしの民が汚染されないように。」

「聖絶せよ。今まで大いなる憐みと忍耐を持ってわたしに立ち返るのを待ったが、彼らはそうしなかった。」

他にも聖書の中で何度も繰り返されていますが、天の父は驚くほどの忍耐と憐みに満ちている、ということ

を心に留めていて下さい。

神はすぐには動きません。

いつも私たちに悔い改めのチャンスを与えてくれます。

しかし時が来れば、「人々は非常に悪くて、言うなれば狂犬病にかかっており死んだも同然。どちらにしても死に向かっているから、わたしは彼らをそのひどい苦しみから解放し、まだ感染していない人々を守る。」

と、憐みによって苦しみから解放するのです。

それで神は、ノアとその家族は感染していなかったのを守ることにし、世を呆れるような暴力と凶悪さから解放することを決めました。

「世は暴虐で満ちているから、わたしは彼らを滅ぼそう。いずれしても、互いに滅ぼし合っているのだから。」

あなたは自分のために、ゴフェルの木の箱舟を造りなさい。箱舟に部屋を作り、内と外とを木のやにで塗りなさい。(創世記 6:14)

『部屋』の注釈には『ネスト (巢)』とあります。

事実、箱舟の中には小さく分けられた部屋、小さな巣が作られました。

ところでこれは、JD.ロックフェラー (John Davison Rockefeller Sr. 1839-1937) を大富豪にした聖句です。

JD.ロックフェラーはスタンダード・オイル社の創業者で、ロックフェラー家は最も有名な大富豪の一族ですね。

それは、JD が初めてこの聖句を読んでから、特に石油業で富を築き上げたからです。

彼は、箱舟の内と外とが木のやにで塗られているのを読んで、「フム…木のやにか…」

それは石油生成物なので、木のやにと石油は密接に関連しています。

そうして、旧約聖書の他の箇所にも、瀝青 (天然アスファルト、タール) 坑や木のやにの場所について書いてあるのを読んで考えました。

「聖書が木のやにについて書いているという事は、中東に原油があるはずだ。」

つまり、原油 = 石油 = お金

こうして、JD.ロックフェラーは創世記で読んだ事に基づいて、中東で初めて油田を詳しく調査し、開発して、富を手に入れたのです。

聖書を読むと良いことがある！

いずれにしても、聖書は私たちを豊かにします。

この事で思い出したことがあります。

高校卒業を間近に控えた若者のこと。

彼の祖父はとても敬虔で優しく、そして非常に裕福でした。

卒業の日、おじいちゃんから箱に入ったプレゼントをもらって若者は大興奮。

「きっとこの中にはキーが入っているんだ。ジャガーかな？ コルベットかも!? それとも 1000 ドルとか 5000 ドルの小切手!? なんでもありだ!!」

期待に満ちて、急いでラッピングを破って箱を開けたら、そこには何と・・・中を見た彼の顔は曇りました。

入っていたのは聖書。聖書!!

彼はおじいちゃんを見て、何とか感謝の気持ちを伝えようとしたが、「あの…おじいちゃん、ありがとう・・・聖書。はは…」

おじいさんは、「いいかい、私は君にどんな物でもあげることができるんだよ。しかしこれが一番、君の人生を豊かにするんだよ。みことばを読みなさい。それが君をものすごく豊かにするから。」

「特に、箴言は生きていく上で実際に役に立つ。全ての若者は、箴言を注意深く学ぶべきなんだよ。」

彼は「OK。分かったよ、おじいちゃん。ありがとう。」

そして、その聖書を本棚に置きました。

がっかりしたのは言うまでもありません。

年月が過ぎて、彼は困難な状況の中、やっとのことで大学を卒業しましたが、「どうしておじいさんは助けてくれないんだ!? あんなに金持ちなのに、どういうことだ!？」とっていました。

それから結婚して家庭を持ちますが、みんなが経験するように様々な苦難が待ち受けていて、30代の初めにいくつかの問題が起り、31歳で大きな試練に直面しました。

その時ふと見上げた本棚に、おじいさんがくれた聖書があったのです。

わざわざ読みはしなかったけど、いつも置いていた聖書。

彼は読み始めました。そして感動し、聖書を最初から学び始めます。

ほどなくして箴言に到達し、通して学んでいたある日、彼は大変驚きました。

箴言のページの間に、おじいさんから彼宛ての 5 万ドル（約 500 万円）の小切手を見つけたのです。

これは実話だと聞いていますよ。分からないけど。

でも一つ言えるのは、大学で苦勞していた全ての期間も、家庭を持ち貧困に喘いでいたその間も、おじいさんが箴言に挟んでおいた 5 万ドルは、ずっとそこにあったということ。

JD.ロックフェラーが創世記を学んで、中東での石油業を始めたのは事実です。

「箱舟を造り、内と外とを木のやにで塗りなさい。」

『聖書はあなたを豊かにする』 シンプルな訓戒ですね。

だから、高校生諸君。両親から聖書を買ったら、よーく注意して読みなさい。

何が入っているか分からないから。

それはともかくとして、みことばは、あなたを真に豊かにします。

「それを次のようにして造りなさい。

箱舟の長さは三百キュビト。その幅は五十キュビト。その高さは三十キュビト。

箱舟に天窓を作り、上部から一キュビト以内にそれを仕上げなさい。

また、箱舟の戸口をその側面に設け、一階と二階と三階にそれを作りなさい。

わたしは今、いのちの息あるすべての肉なるものを、天の下から滅ぼすために、地上の大水、大洪水を起こそうとしている。

地上のすべてのものは死に絶えなければならない。

しかし、わたしは、あなたと契約を結ぼう。

あなたは、あなたの息子たち、あなたの妻、それにあなたの息子たちの妻といっしょに箱舟に入りなさい。

またすべての生き物、すべての肉なるものの中から、それぞれ二匹ずつ箱舟に連れて入り、あなたといっしょに生き残るようにしなさい。

それらは、雄と雌でなければならない。

また、各種類の鳥、各種類の動物、各種類の地をはうものすべてのうち、それぞれ二匹ずつが、生き残るために、あなたのところに来なければならない。

あなたは、食べられるあらゆる食糧を取って、自分のところに集め、あなたとそれらの動物の食物としなさい。」

ノアは、すべて神が命じられたとおりにし、そのように行った。(創世記 6:15 - 22)

ノアは箱舟を造るように命じられました。

ここでまず初めに、私たちがよく目にする“ノアの箱舟”のイメージを変えなければなりません。

通常、聖書物語の本やパネルシアターで見る箱舟は“船”の形をしています。ここで造られた物は違います。

一般的な形の“船”のイメージではなく、むしろバージ（はしけ、荷船）か巨大な箱のようで、水の上を操縦するのではなく、水に浮かぶように造られていました。

風や舵を使って操船するのではなく、ただ水によって押し上げられ、浮かぶように造られた巨大なバージがノアの箱舟です。

興味深いことに、長さは幅の 6 倍。

今でも戦艦や外航船はこの比率で造られています。長さ：幅＝6：1

箱舟は大きな棺桶のような物で、しかも非常に興味深く不思議なことに、使用されているゴフェルの木は、考古学の発掘によると、この時代、実際に棺桶を作るのに用いられていたのです。

恒久的に長持ちするというので、棺桶に使用されていたゴフェルの木。

それを使って、船と言うよりも棺桶のような外観をした箱舟が造られました。

巨大なバージ、巨大な箱。とてつもない大きさ。

300 キュビトは約 450 フィート。1 キュビトは大体 18 インチ（約 44 cm）

今回は追及しませんが、1 キュビトが 24 インチだと言う人たちもいます。

でもほとんどの学者は、基本的には 1 キュビトは 18 インチだと考えていて、これは建築の場で用いられる測量法では、大体指先から肘までの長さになります。

今回は、24 インチではなく 18 インチの方が正確だとして考えてみましょう。

そうすると、長さが 450 フィート (137.16m)、幅は 75 フィート (22.86m)、高さが 45 フィート (13.7 m) の巨大な箱舟。

そして 1 階、2 階、3 階の 3 階建て。

面積は 97,000 平方フィート (9,011.59 m²) 以上。

「それは、どれくらい大きいんだ？」 巨大。ものすごく大きい。

「どれくらい？」 貨物車の大きさを知っていますか？

線路を走っている貨物車。かなり大きいですね。

そばに立ったり、中に入ってみたら分かりますが、見た目よりもかなり大きいです。

この 97,000 平方フィート (9,011.59 m²) を貨物車に換算すると、1 台分ではなく、5 台分でもなく、10 台分でも 20 台分でもない。なんと、520 台分！

これはすごい数。520 台分ですよ！

膨大なスペース。たくさんの部屋。

つづく

聖書はこう言っています。

「この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない。」

(ローマ 10:11 新改訳 2017)